事例No.	940
公表年度	R1
団体の属性	町村
団体名	神奈川県山北町

事例区分	公会計

タグ	・（公会計）業務の効率化 ・ICT

事例種類	業務の効率化

事例内容・タイトル

日々仕訳の導入

出典

地方公会計の推進に関する研究会（令和元年度）報告書

加えて、財務会計システムの更新・入替え等のタイミングを契機として、財務会計システムと一体的な地方公会計システムを導入し、日々仕訳を導入することが有効な方策であり、それを目指すことが望まれる。ただし、日々仕訳を導入した場合でも、固定資産台帳の更新自体をその都度行っていかなければ、固定資産台帳の更新の早期化には繋がらないことに十分注意が必要である。

日々仕訳の導入（神奈川県山北町）

事例概要

○ 財務会計システムの更新を契機として、日々仕訳に対応したシステムを導入。導入にあたっては、予算科目の細々節に公会計上の仕訳を登録することで、業務の効率化を図った。

取組内容

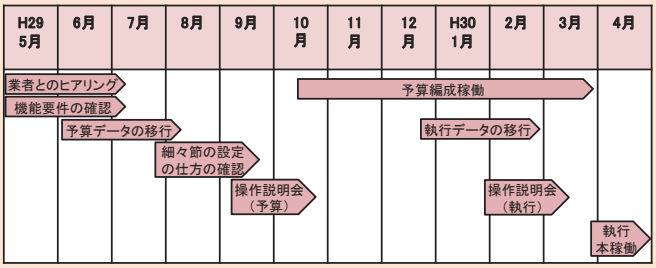
○ 既存の財務会計システムのリース契約終了（平成29年度末）に伴い、次期財務会計システムを新しく選定する際に、地方公会計の機能も一体となった日々仕訳に対応したシステムを導入。

○ 平成30年度予算の編成段階から新システムを稼働させるため、調整作業は、平成29年5月に開始し、10月までに完了。

○ 日々仕訳の導入に当たって、あらかじめ予算科目に公会計上の勘定科目を紐付けておくことで、担当課が仕訳の作業を行わずとも、予算執行を行うだけで自動的に仕訳が行われることから、財務会計システムの変更による操作説明会は実施したが、それ以外の説明は実施せずに導入を実現。

○ 細々節の設定作業は、従前の予算科目コードデータを抽出し、システム受託業者において公会計上の勘定科目との紐付け案を作成し、財政担当課で確認。特に、1つの節内で資産形成を成すものとそうでないものが混在するケース（委託料など）を確認。

【予算編成までのスケジュール】



【細々節への登録イメージ】

細々節の科目（設定前）		細々節の科目（設定後）
借上料	資産計上するもの、費用計上するものへと分割	借上料（所有権移転）（資産計上） 借上料（所有権移転外）（費用計上）
改修工事		改修工事（資産計上） 修繕費（費用計上）

効果等

○ 出納閉鎖、決算統計作業の後、速やかに現金取引以外の整理に入ることができ、作業時間が大幅に短縮された。

○ 財務会計システムが変更となったこと以外に、担当課として作業に大きな変更がないため、庁内調整に時間をかけず、業務を進めることができている。

○ 資産形成における取引については、予算執行の際、固定資産台帳の異動を登録する画面へ自動的に遷移し、資産情報の更新を行わないと予算執行等ができないため、事業担当課に資産を強く意識してもらうことができた。